

弘前大学学報



弘前市文京町 大学会館前

第 21 号
平成17年12月号

学内ニュース

- 平成17年「仕事納め」学長挨拶 学長 遠藤正彦 ----- 1
- 国立大学法人弘前大学主催音楽会 ----- 3
弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会－青森公演－を開催
- 教育学部国際音楽センター教員による「MOSTLY CONCERT」を開催 ----- 4
～大勢の市民，学生，高校生，教職員を魅了～
- 「学長顕彰」で学祭本部実行委員会を表彰 ----- 5
～学生・教職員の連帯を深め，地域文化交流への推進に寄与～

学 事

- 外国出張 ----- 6

諸 会 議

----- 8

人 事

- 人事異動 ----- 11

主要日誌

----- 12

学内規則

- 国立大学法人弘前大学余裕金運用規程 ----- 13
- 弘前大学学則の一部改正 -----
- 弘前大学大学院学則の一部改正 -----

訃 報

13

平成17年「仕事納め」学長挨拶

平成17年12月28日
弘前大学長 遠藤正彦



国立大学法人弘前大学の平成17年12月仕事納めに当たり、学長としてこの1年を振り返り、所感を申し述べます。

本年1月は、本学が国立大学法人化され、その第1年目の総決算期を迎える時でありましたが、昨年末に突然起こった学生の授業料値上げ問題でこの1年は始まりました。この問題は3月末に不本意ながら値上げを決定しましたが、学内外に様々な議論を巻き起こしたところであります。

この問題は、国立大学法人の財政問題の不安を、一挙に露呈させることとなりました。この財政上の問題は、本年秋口の人事院勧告に見られる給与

問題、そして年末の予算編成、及び平成18年度運営費交付金内示、更に国立大学法人等職員の人件費5%削減等、様々な問題へと連なっているところであります。この財政問題は、平成18年に、いよいよ重要課題となります。

しかし、このような冒頭の話は別として、この国立大学法人化2年目を、大きな問題もなく無事に過ごせたことを、学長としてまず本学の全教職員・学生に感謝と御礼を申し上げなければなりません。皆さん、この1年間の本学の管理運営、教育、研究、社会貢献等への、御労苦に心からの敬意を表し、御礼を申し上げます。

さて、この1年間の本学での様々な活動等について振り返ってみたいと思います。まず第1に挙げなければならない重要事項は、国立大学法人1年を終え、その中期目標・中期計画に対する平成16年度実績報告書の作成と、それらの文部科学省への提出、そしてそれに対する文部科学省の国立大学法人評価委員会からの評価ということでありました。また財務諸表の作成と監事及び監査法人による監査後の文部科学省への提出、そしてそれに対する承認という、私共国立大学が初めて経験した手続きでありました。その結果、平成16年度実績報告書に対する評価では、幾つかの問題点はあるものの、本学独自の創意工夫が認められ、予想以上の評価が得られたと思います。財務諸表に対する評価においても特段の指摘もなく、剰余金を得る程でありました。これらは、本学構成員の平成16年を通じての不断の努力の結果であると、学長として感謝致します。

次に、教育研究組織に関しましては、大学院医学系研究科保健学専攻・修士課程が本年4月1日に設置されました。そして教育学部に「教員養成学研究開発センター」が設置されました。また、農学生命科学部が、本年で創立満50周年を迎えられ、記念式典が催されました。

教育、学生に関しましては、我が国の不況の中、本学学生の就職率が著しく好転しました。これは本学の就職支援センターを中心に、各学部の就職担当教職員の、様々な支援活動の結果であり、平成17年度の国家公務員I種試験に4名の合格者を出し、また、つい先日発表された教員採用試験でも好成績を収めることが出来ました。この本学の就職支援活動は、つい先日、本学の就職力として新聞全

国紙でも紹介されるまでに至りました。素晴らしいことと思います。

入学者選抜個別学力試験の志願者におきましても、少子化・大学全入時代を前に、昨年度は、入学志願者を大幅に減らしましたが、本年度は教職員の様々な働きかけが功を奏して、かなり回復しました。

本年5回目を迎えた総合文化祭は、必ずしも天候に恵まれたわけではありませんでしたが、多数の学生が参加し、そして多くの市民が参加して盛り上がりました。そして、その他の課外活動も活発化し、課外活動団体連合会も設立されました。これには本学の教職員の絶大な協力の他、本学後援会の強力な支援があったからです。全国の大学で大学祭の低迷が伝えられている中、大変喜ばしいことと思っています。

研究の面では、様々な分野で著しい活動が目につきます。附属図書館は、本学の前身の一つ旧制弘前高等学校で学んだ太宰治に関する著書・関係資料を集めた「太宰治研究文庫」を開設しました。これと時を同じくして太宰治研究の碩学であり本学の関係者である小野正文先生と相馬正一先生に、本学の名誉博士号第3号と第4号が授与されました。

また、児童文学として世界的に有名なものに「ピーターパン」がありますが、その著者である英国エジンバラ大学の総長であったジェームス・マシュー・バリのほとんどすべての著書及び関係研究書が大量に附属図書館に寄贈され、「ピーターパン・バリ文庫」として開設されました。これに因んで、本学農学生命科学部附属の藤崎農場内にあるチューリップ園が、「ピーターパン・チューリップ園」と名付けられ、多くの市民を集めました。

弘前大学出版会は、本年6月で創立満1周年を迎えたばかりではありましたが、これまでに11冊の本を刊行しました。その内、幾つかは地方でのベストセラーともなり、地方大学の出版会のめざましい活動として新聞にも紹介されております。

研究面で特に著しい点は、各学部新たに合計14の施設・センターが設置され、それぞれ活動を展開していることです。その中で人文学部の「亀ヶ丘文化研究センター」は、総合教育棟2階に亀ヶ丘の土器・土偶の展示室を設置し、一般に公開し多くの市民を集めました。これは、本学としての初めての常設展示室です。

社会貢献としては、地元の県信用金庫協会と本学との全国第一号である「コラボ産学官」の連携事業が発足しました。また、本学と地方自治体との連携第1号として鱒ヶ沢町との地域連携事業の調印が行われました。また、本学独自のものとして弘前大学マッチング研究支援事業「GOGOファンド」が発足し、全国的に注目をあびています。その他、様々な地域連携、生涯学習教育活動が展開されております。

その他の事として、昨年移築した旧制弘前高等学校外国人教師館が登録有形文化財として文化審議会より指定を受けました。本学にとりまして、初めての国指定の文化財が登場したことになりました。

最後に、医学部附属病院の問題です。過疎化の進む地方の中都市の、大学附属病院として厳しい状況の中にありながら、高度の診療の維持と健全経営とを支えてきた関係者に、心からの感謝を申し上げます。そして、本学初めてのGPとして、平成17年度医療人教育支援プログラムに、附属病院の「青森へき地医療クリニカル・フェロウシップ」が指定を受けました。

この1年を振り返ってみますと、大学の経営全体としては、財政上の問題をかかえながらも、まずまずのものであると言えます。一方、教職員・学生が今までご紹介してきたように、様々な努力を払い、そして素晴らしい成果を挙げてきたことは、率直に喜ぶべきことと思います。この御労苦に心からの御礼を申し上げます。

国立大学法人化満2年が間もなく終了となりますが、第1期中期目標・中期計画の終了前の中間報告までには、後3年ということになります。皆様の更なる御協力を御願い致します。

平成18年が、国立大学法人弘前大学にとりましても、また本学の構成員及びその御家族にとりましても、明るい希望に満ちた新年となりますよう祈念し、仕事納めの挨拶とします。

国立大学法人弘前大学主催音楽会 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会－青森公演－を開催

去る12月3日（土）青森市内の「ぱ・る・るプラザ青森」において、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団による演奏会を開催しました。この演奏会は、国立大学法人弘前大学が主催し、昨年、一昨年に引き続き3年連続で青森市での開催となりました。

当日は雪が降りしきる中、青森地域の各市町村から400名を超える来場者がありました。

安達弘潮本学名誉教授の指揮で、チャイコフスキーの交響曲第4番ほかを演奏、来場者は、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の若さあふれるエネルギッシュな演奏に耳を傾けていました。

音楽会終了後、来場者からは「素晴らしい時間が持てました」など数多くの感激の言葉が寄せられ、来年以降も音楽会を開催してもらいたいという要望も多数寄せられました。

なお、来年は八戸市での演奏会実施を予定しており、今まで以上に青森県内各地域への貢献を目指していきたいと思えます。



演奏する弘前大学フィルハーモニー管弦楽団



演奏に聴き入る来場者

教育学部国際音楽センター教員による「MOSTLY CONCERT」を開催 ～大勢の市民、学生、高校生、教職員を魅了～

教育学部国際音楽センター教員による「MOSTLY CONCERT」が12月9日（金）19時から、創立50周年記念会館みちのくホールで開催されました。

このCONCERTは、弘前大学同窓会の平成17年度行事の一貫として、本学が共催して行われたもので、三上 巽同窓会理事（農学生命科学部同窓会長）が同窓会を代表して挨拶、同センターの浅野 清教授、和田美亀雄教授、今田匡彦助教授、杉原かおり助教授のほか学生の幸山弥代さん、二田裕矢さんが出演されました。

当日は、厳しい寒さの中、市民、市内の大学生・高校生、本学の学生・教職員約200人が来場され、出演者の演奏、歌声に魅入っていました。

CONCERT終了後、来場者の皆様からは「素晴らしかったです。」「感激しました。」「今後も続けてほしいです。ありがとうございました。」などの有り難い言葉をいただきました。

なお、出演者の演奏曲目等は、次のとおりです。

浅野 清 教授	「愛の夢第3番」	他 (piano)
和田美亀雄 教授	「ヴォカリーズ」	他 (trombone)
杉原かおり 助教授	「初恋」	他 (soprano)
今田 匡彦 助教授・幸山 弥代さん・二田 裕矢さん	「線と点をめぐって」	他 (composition&piano) (saxophone)



浅野教授のピアノ



和田教授のトロンボーン



杉原助教授の独唱



今田助教授作曲による作品の演奏

「学長顕彰」で学祭本部実行委員会を表彰 ～学生・教職員の連帯を深め、地域文化交流への推進に寄与～

本学初となる「弘前大学長顕彰」の表彰式が去る12月5日事務局特別会議室で行われ、学生及び教職員の連帯を深めるとともに、地域との文化交流への推進に功績のあった学祭本部実行委員会へ顕彰状が授与されました。

表彰式は、学祭本部実行委員会の大佐賀委員長、佐々木副委員長が出席し、学長から顕彰状及び記念品が送られました。また、表彰式には、総合文化祭実施委員会委員長の大関教育・学生担当理事、渡邊総務部長、三浦総務課長、岡本学生課長らが出席されました。

この「学長顕彰」は、本学の名誉を高めた顕著な業績、活躍をした者又は団体や学長が顕彰することを適当と認めた者又は団体を顕彰する制度で、平成16年12月6日の役員会で決定されました。今回学祭本部実行委員会が制度発足後初めての顕彰となりました。

初の「学長顕彰」で表彰された学祭本部実行委員会の大佐賀委員長は、「表彰は、これまでの先輩や、今年の実行委員会のメンバーによる努力のおかげと思っています。」と語っていました。

なお、表彰式終了後、大学会館内において、遠藤学長と学祭本部実行委員会のメンバーとの懇談会が開催され、今後の総合文化祭のあり方などについて、活発な意見交換が行われました。



左から遠藤学長、大佐賀委員長、佐々木副委員長、大関理事



懇談する遠藤学長と学祭本部のメンバー

外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
教授 (教)	東 徹	「トヨタコレクション資料の評価及び再分類」に関する調査	オランダ王国 フランス共和国	17.12. 8 ～ 17.12.16
教授 (教)	加藤 陽治	2005環太平洋国際化学会議研究発表	アメリカ合衆国	17.12.14 ～ 17.12.19
助教授 (教)	北原 晴男	2005環太平洋国際化学会議研究発表	アメリカ合衆国	17.12.17 ～ 17.12.23
教授 (教)	浅野 清	日本とニュージーランドの作曲家による室内楽作品の演奏研究	ニュージーランド	17.12.21 ～ 17.12.27
教授 (医)	大山 力	The Burnham Institute Cancer Center でのトロフィニンについての研究打合せ及びカリフォルニア州立サンフランシスコメディカルセンターの見学	アメリカ合衆国	17.12. 5 ～ 17.12.11
助手 (医)	畠山 真吾	The Burnham Institute Cancer Center でのトロフィニンについての研究打合せ及びカリフォルニア州立サンフランシスコメディカルセンターの見学	アメリカ合衆国	17.12. 5 ～ 17.12.11
助手 (医)	吉田 仁	米国ユタ大学において全静脈麻酔トレーニングコース参加	アメリカ合衆国	17.12. 4 ～ 17.12. 9
教授 (医)	奥村 謙	鶏冠 terminalis 起動研究に関する打合せ及び The 1st Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium 2005 出席	アメリカ合衆国	17.12. 4 ～ 17.12. 9
助手 (医)	木村 正臣	鶏冠 terminalis 起動研究に関する打合せ及び The 1st Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium 2005 出席	アメリカ合衆国	17.12. 4 ～ 17.12. 9
教授 (医)	藤 哲	「医学の100年」講演会出席・手の外科に関する研究資料収集	セルビア・モンテネグロ	17.12. 5 ～ 17.12.11

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
教授 (医)	宮越 順二	PACIFICHEM2005 (環太平洋国際化学会議) に出席	アメリカ合衆国 (ハワイ)	17. 12. 4) 17. 12. 17
講師 (病)	鳴海 俊治	病院手術見学, 移植プロトコール協議出席	アメリカ合衆国	17. 12. 5) 17. 12. 11
助手 (病)	横山 徹	国際頷椎外科学会学術集会出席	アメリカ合衆国	17. 11. 30) 17. 12. 4
助手 (病)	米山 高広	The Burnham Institute Cancer Center で研究打合せ及びカリフォルニア州立サンフランシスコメディカルセンター見学	アメリカ合衆国	17. 12. 5) 17. 12. 11
助手 (病)	岩佐 篤	APAFS2005 学会出席	大韓民国	17. 12. 14) 17. 12. 18
助手 (病)	小林 孝男	APAFS2005 学会出席	大韓民国	17. 12. 14) 17. 12. 18
教授 (理工)	力石 國男	「海氷に関する国際シンポジウム」での研究発表	ニュージーランド	17. 12. 3) 17. 12. 11
教授 (理工)	澤田 英夫	2005 環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM 2005) にて, フッ素系機能性材料に関する情報交換	アメリカ合衆国	17. 12. 10) 17. 12. 21
助教授 (理工)	喜多 昭一	2005 環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM 2005) に参加	アメリカ合衆国	17. 12. 13) 17. 12. 19
助教授 (理工)	長岐 正彦	2005 環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM 2005) にて, 遺伝子組換え体酵素の基質特異性に関する研究発表	アメリカ合衆国	17. 12. 15) 17. 12. 20
教授 (農生)	橋本 勝	2005環太平洋国際化学会議	アメリカ合衆国	17. 12. 14) 17. 12. 23

■ 諸 会 議

▼ 役員会

1 2月5日（月）

審議事項

- 1 教員の履歴について
- 2 その他

報告事項

- 1 余裕金運用計画について
- 2 その他

1 2月13日（火）

審議事項

- 1 教員の懲戒について

1 2月19日（月）

審議事項

- 1 教員の懲戒について
- 2 「国立大学法人弘前大学災害対策規程」制定の承認について
- 3 平成18年度年度計画（素案）について
- 4 パンショップ及び光通信の整備のための寄附受入れについて
- 5 その他

報告事項

- 1 平成17年度業務の総括について
- 2 弘前大学と弘前市等との関わり調査について
- 3 その他

1 2月27日（火）

審議事項

- 1 附属病院長の専任化に伴う諸規則等の一部改正について
 - (1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
 - (2) 国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正
 - (3) 弘前大学医学部教授会規程の一部改正
 - (4) 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正
- 2 その他

報告事項

- 1 教員の懲戒について
 - 2 社団法人国立大学協会会員代表者・事務担当責任者による連絡会について
 - 3 平成17年度内部監査の結果について
 - 4 平成18年度予算内示について
 - 5 平成17・18年度国立大学法人施設整備費補助金等実施予定事業について
 - 6 決算剰余金の翌事業年度への繰り越しについて
 - 7 平成17年度発明協会知的財産管理アドバイザー派遣先大学評価委員による大学訪問調査について
 - 8 その他
-

▼教育研究評議会

1 2月13日（火）

審議事項

- 1 教員の懲戒について
- 2 「国立大学法人弘前大学災害対策規程」の制定について
- 3 その他

報告事項

- 1 教員人事について
 - (1) 教員の採用
- 2 弘前大学大学院奨学金返還免除候補者選考委員会規程の制定について
- 3 平成18年度大学入試センター試験志願者の本学への割当数について
- 4 「臨床心理士」受験資格取得に関する大学院専攻コース指定申請について
- 5 第2回附属図書館学術講演会について
- 6 「2006年度弘前大学シニアサマーカレッジ」について
- 7 アスベストの状況について
- 8 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 研究・施設マネジメント委員会
 - (4) 社会連携委員会
 - (5) 環境報告書作成専門委員会
- 9 その他

▼学長選考会議

1 2月1日（木）

議 題

- 1 学長候補者選考規程の見直しについて

1 2月12日（月）

議 題

- 1 学長候補者選考規程の見直しについて

▼教育・学生委員会

1 2月27日（火）

議 題

- 1 平成18年度総合文化祭日程について
- 2 日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者選考に関する申合せ（案）について
- 3 平成17年度大学院第一種返還免除候補者推薦配分数（案）について
- 4 平成18年度の体力・運動能力調査の実施について
- 5 その他

報告事項

- 1 平成17年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 2 第5回学生生活実態調査専門委員会委員の決定について
- 3 学外での本学学生の言動への苦情メールについて
- 4 目黒萌絵選手オリンピック出場への横断幕の掲揚について
- 5 市道文京町線の安全・利便性について
- 6 平成17年度「学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議会の集い」について

7 その他

- (1) 学生担任制度の実施状況調査について
- (2) 学生による授業評価に関するアンケート実施結果の検証について
- (3) 学寮におけるインターネット接続について

▼研究・施設マネジメント委員会

1 2月7日（水）

議 題

- 1 大学会館学生食堂パンショップコーナーについて
- 2 その他

報告事項

- 1 平成18年度科学研究費補助金の申請状況について
- 2 「平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書第1次」の作成について
- 3 障害者対策について
- 4 富田通り困障工事について
- 5 アスベストについて
- 6 文京町・本町地区の電力，熱及びエネルギー使用量について
- 7 卒業する学生の自転車の取扱いについて
- 8 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

1 2月22日（木）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
 - (4) 高等教育研究開発室
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 認証評価に係る自己評価書について
- 2 平成17年度21世紀教育授業運営・担当評価について
- 3 21世紀教育科目における弘前大学公開講座対象授業科目に関する基準の一部改正について
- 4 その他

人 事 異 動

[任用更新]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 12. 18	教諭(附幼)	桑田 妃奈子	18. 2. 6まで

[退職・離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 12. 31	事務職員(総・人)	石川 真理	辞職

■ 主要日誌

- 12月 1日 学長選考会議
2日 学長オフィスアワー
町内会長との懇談会
3日 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会－青森公演－（ば・る・るプラザ青森）
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター公開講座「リンゴを科学する」
（～5日 板柳町多目的ホールあぶる）
5日 役員会
7日 弘前大学 FD 講演会・シンポジウム（50周年記念会館みちのくホール）
8日 推薦・特別選抜選考委員会
総合文化祭推進委員会・実施委員会合同会議
21世紀教育教務専門委員会
9日 推薦・特別選抜合格者発表
21世紀教育点検・評価専門委員会
教育学部国際音楽センター教員による「MOSTLY CONCERT」
（50周年記念会館みちのくホール）
10日 農学生命科学部りんご振興研究センター発足記念シンポジウム（農学生命科学部）
12日 （社）国立大学協会臨時総会（学士会館）
監督者研修（JST 基本コース）（～15日 50周年記念会館会議室）
研究科（理工学・博士前期，農学生命科学）出願受付開始（～16日）
13日 運営会議
教育研究評議会
15日 医学部長候補者予備選挙投票日
学長オフィスアワー
16日 大学入試センター試験入試担当者連絡協議会（昭和女子大）
教育学部附属学校園全体評議員会（教育学部）
19日 役員会
21世紀教育 FD・広報専門委員会
推薦Ⅱ（医学科，保健学科）出願受付開始（～22日）
20日 入試委員会
センター試験管理運営担当者会議
22日 北東北3大学第6回分野別（理工学系）専門委員会（理工学部）
21世紀教育センター運営委員会
26日 医学部長候補者本選挙投票日
27日 第48回弘前大学遺伝子実験施設セミナー（遺伝子実験施設）
役員会
28日 仕事納め
-

学内規則

(平成17年10月31日制定)

○ 国立大学法人弘前大学余裕金運用規程

(平成17年11月21日改正・平成17年12月1日施行)

○ 弘前大学学則の一部改正

学校教育法施行規則の一部改正により、大学の入学資格に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、新たに専修学校の高等課程を修了した者（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）が追加されたことに伴い、この規則の一部を改正した。

(平成17年11月21日改正・平成17年9月9日適用)

○ 弘前大学大学院学則の一部改正

学校教育法施行規則の一部改正により、大学院の入学資格に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、新たに専修学校の専門課程を修了した者（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）が追加されたことに伴い、この規則の一部を改正した。

訃報

本学農学生命科学部教授 五十嵐康雄氏には、平成17年
11月13日午前7時20分御逝去されました。

享年 63歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第21号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111